

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



## 平成27年6月8日（月）～平成27年6月14日（日）〔第24週〕の感染症発生状況

第24週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)手足口病でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.88人と前週（7.48人）より増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は6.48人と前週（5.64人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は4.24人と前週（2.76人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう！！

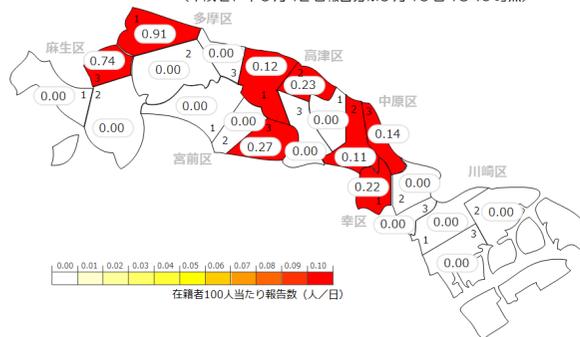
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告数は、全国的に増えており、川崎市においても例年に比べ大きく増加しています。第24週の定点当たり患者報告数は6.48人となり、平成11年のデータ収集開始以降、**過去最多**となりました。

特に、高津区、宮前区、多摩区などの北部地域を中心に流行がみられます。

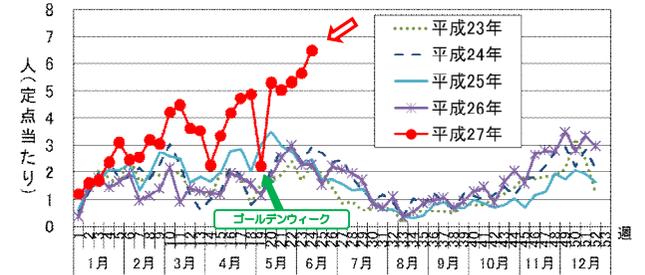
### 学校・保育園等欠席者サーベイランス情報 【溶連菌感染症の保育園児報告数※】

※在籍者100人当たり

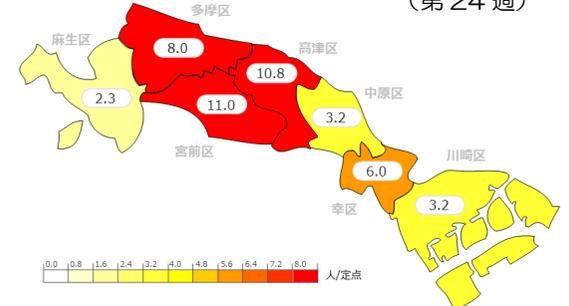
（平成27年6月12日報告分※6月16日13:40時点）



### 川崎市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況



### 川崎市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況 （第24週）



<川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)より>

